

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	19 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	饗庭	垣内	久門	鶴田	

文化財名	結崎の太鼓踊り絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1994年(平成6)3月25日				
所在地	磯城郡川西町結崎68				
所有者 管理者	糸井神社				
員数	1面				
時代区分	江戸時代 1842年(天保13)				
樹木の場合	(樹木名)	—		(樹齢)	—
案内板の状況	あり。拝殿右横に絵馬(太鼓踊り、おかげ踊り)の説明板あり(川西町教育委員会)。傷み汚れなし。				
公開	拝殿の中に飾られており、観覧は糸井神社宮司の拝殿扉の解錠が必要。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(拝殿中での保管で、風雨は防げる状態にある)				
当面の課題	拝殿中での保管であり、速やかに対応すべき課題は無い。				
今後の課題	奉納された絵馬としての現状保管に課題はないが、絵馬を絵画と捉えた場合、絵具の剥落など、補修の問題、温度、湿気など保管環境の課題が先に発生すると思われる。糸井神社のもう一つの「おかげ踊り絵馬」は絵の具の剥落が顕著となっている。				
その他 (由緒など)	「多くの人たちが雨乞いの願をかけるために、太鼓踊りをしている様子が描かれている。西瓜を切り売りしている様子や、僧侶が灯笼に火をともしている様子などが描かれて、当時の生活や神仏習合の一端が垣間見られる貴重な資料となってる」(川西町教育委員会案内版)かつては、神宮寺として観音院が存在していたが、明治の廃仏毀釈で取り壊された。				
コメント	植嶋宮司の説明では、絵馬に描かれたスイカを売る様子は、大和平野でのスイカの栽培・流通を知るうえで貴重で、当時の文献の記述と絵馬の様子とが合致することから県の文化財に指定されたとのこと。また、飴や水を売る場面も雨乞いにかけて描かれているように思われ、太鼓の音が雷を表すことから雨乞いが行われている図柄であることが分かる。川西町役場玄関にはレプリカが展示されている。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	9 月	19 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	饗庭	垣内	久門	鶴田	

文化財名	結崎の太鼓踊り絵馬
------	-----------

太鼓踊り絵馬(拝殿内)	川西町役場にあるレプリカ
-------------	--------------



スイカ売り(絵馬一部)	飴売り(絵馬一部)
-------------	-----------



川西町 町 村の歴史 大字結崎の説明板	絵馬がある拝殿
---------------------	---------

